

「ハマる、ハチノへ。」 ツーリズム・シティプロモーション 特別委員会

日時：令和8年6月12日（金）
午前10時10分
場所：第2委員会室

○ 議 題

【広報統計課】

- 1 令和7年度ふるさと納税の実績について

【観光課】

- 2 主要観光入込客数及び宿泊者数について
- 3 食のまち・八戸の取組について
- 4 令和7年度インバウンドに関する事業実績について
- 5 令和7年度広報プロモーションに関する事業実績について

令和7年度ふるさと納税の実績について

1 実績

(1) 令和7年度の実績

年度	個人		法人・団体		計		前年度比 (金額)
R1	1,395件	26,403,599円	14件	4,719,047円	1,409件	31,122,646円	- 78.2%
R2	3,492件	59,559,219円	10件	5,046,893円	3,502件	64,606,112円	+107.6%
R3	6,551件	119,044,800円	8件	4,075,114円	6,559件	123,119,994円	+ 90.6%
R4	7,337件	138,335,750円	11件	4,413,238円	7,348件	142,748,988円	+ 15.9%
R5	7,738件	154,923,500円	11件	4,298,841円	7,749件	159,222,341円	+ 11.5%
R6	8,062件	176,118,025円	17件	5,655,999円	8,079件	181,774,024円	+ 14.2%
R7	13,903件	311,714,290円	15件	4,507,487円	13,918件	316,221,777円	+ 74.0%

(参考) 全国の実績

年度	全国の個人の合計		前年度比(金額)
R5	58,945,616件	1,117,499,542千円	+ 15.8%
R6	58,787,253件	1,272,752,409千円	+ 13.9%

※出典：総務省公表「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和7年度実施）」

(2) 県内順位（個人からの寄附）

R6年度				R5年度			
順位	自治体名	件数(件)	金額(千円)	順位	自治体名	件数(件)	金額(千円)
1	青森市	116,450	1,567,961	1	弘前市	94,009	1,337,030
2	弘前市	87,031	1,433,806	2	青森市	80,759	1,071,789
3	五所川原市	41,014	1,027,320	3	五所川原市	51,039	1,010,171
4	黒石市	36,501	521,783	4	黒石市	38,819	462,742
5	南部町	26,337	446,884	5	南部町	29,256	431,225
:	:	:	:	:	:	:	:
14	八戸市	8,062	176,118	12	八戸市	7,755	154,924
全国平均		32,879	711,830				
全国中央値		9,302	240,337				

※出典：総務省公表「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和7年度実施）」

(3) 交付税措置

八戸市民が他自治体に行ったふるさと納税（市町村民税控除額）について、その75%を交付税で措置

令和6年度	①市町村民税控除額（推計値）	382,598,048円
	②交付税措置額（①×75%）	286,948,536円

※出典：総務省公表「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和7年度実施）」

2 返礼品

(1) 取扱状況（令和8年3月末時点）

- ①返礼品数 全513品（品切れ中のもの含む）
- ②提供事業者 78社
- ③総務省の基準
 - ・地場産品であること
 - ・寄附金額の3割を超えないこと
 - ・寄附募集に係る諸経費が寄附合計額の5割を超えないこと

(2) 人気商品

年度	第1位	第2位	第3位
R5	熟成黒にんにくバラ 1kg 1,388件 (16.2%)	にんにく上級品 2kg 854件 (10.0%)	チョコQ助 10袋セット 620件 (7.2%)
	チョコQ助 10袋セット 1,274件 (14.1%)	熟成黒にんにくバラ 1kg 932件 (10.3%)	にんにく上級品 2kg 715件 (7.9%)
R7	あいこちゃん青の鯖水煮 24缶セット 1,553件 (7.5%)	あいこちゃん金の鯖味噌 煮 24缶セット 1,173件 (5.7%)	あいこちゃん銀の鯖水煮 24缶セット 977件 (4.7%)

3 令和8年度の主な取組

(1) 返礼品の充実

新規開拓を進めるとともに、サバ缶などの主力商品の更なるブラッシュアップを図る。

(2) ふるさと納税業務の推進

地域力創造アドバイザーから、ふるさと納税に関する知見やノウハウを習得し、ふるさと納税業務の推進を図る。

(3) 寄附金使途の見直し

寄附者が選びやすくするとともに、寄附金を柔軟に重点事業などへ予算配分が可能となるよう、39ある寄附金使途を事業分野単位に集約することを検討する。

(4) クラウドファンディング型の活用

寄附金使途を集約する一方で、個別具体的にPRしたい事業にはクラウドファンディング型を活用する。

4 地域力創造アドバイザー活用事業

(1) 事業概要

当市のふるさと納税に関する課題の洗い出しを行うとともに、効果的なPR方法や話題性のある返礼品の開発等、現在行っている業務に対する実務的な助言を受けることにより、ふるさと寄附金の増額につなげる。

(2) アドバイザー

松永 浩司 氏（未来創造株式会社 代表取締役）総務省地域人材ネット登録者
※令和7年度と同様

(3) 令和7年度の実績

① 事業

令和7年	11月	・当市の課題に基づく分析や助言 ・年末に向けた施策の進捗確認等
令和8年	1月	・地域事業者向け講演会の実施（1/20） 出席88名 「まるで、ワンダーランド。セミナー」 ～ふるさと納税を活用した、関係人口創出と稼ぐ 地域づくりの実践ノウハウ～
	2月	・令和8年度の取組案の検討について
	3月	・令和7年度の取組総括、令和8年度の取組確認

② 成果

ポータルサイトに掲載する商品の価値を高めるビジュアル設計や、データに基づく供給体制の確立など、具体的な助言を受け、中間事業者である VISIT はちのへとともに、可能なものから順次実施。

(4) 令和8年度の取組

① 予算額

125万円（謝礼25万円×5回） ※特別交付税措置あり（78%）

② 事業スケジュール（予定）

令和8年	6月	・ふるさと納税寄附額アップ勉強会（6/24、事業者向け）
	8月	・令和8年度業務実施計画書に基づく施策の進捗状況確認
	10月	・勉強会参加者のアフターフォロー状況について
	11月	・年末に向けた施策の進捗確認等
令和9年	2月	・令和8年度の取組総括、令和9年度の取組確認

主要観光入込客数及び宿泊者数について

1 主要観光地点入込客数

○傾向

八戸市の5か所の主要観光地点のうち3か所で、前年度を上回る観光入込客数であり、5地点合計の入込客数についても、令和元年度と比べて105.5%と上回った。また、市内のインバウンドについては、種差海岸インフォメーションセンターに前年度比約3.2倍の7,045人が来訪するなど、好調であった。

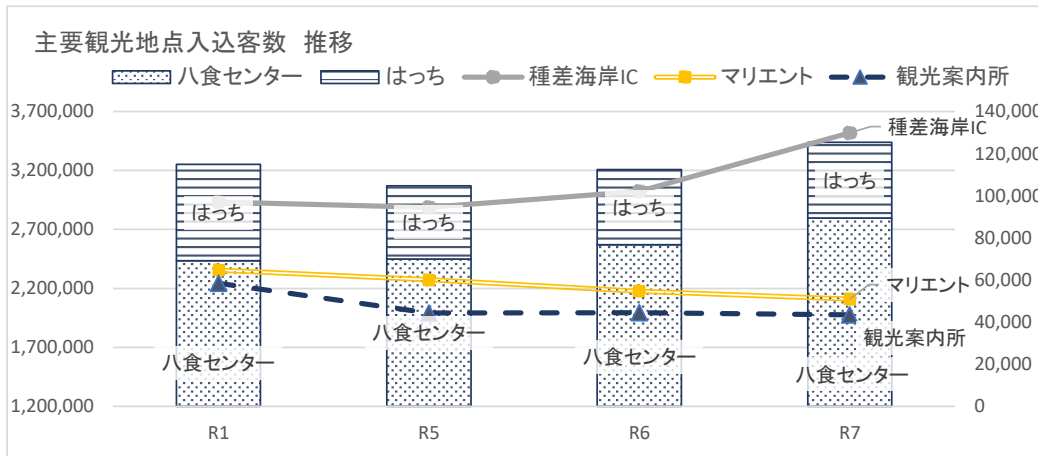
令和7年における旅行者の全国的な傾向としては、インバウンドは好調であり、延べ宿泊者数は対前年比で8.2%増加した一方、国内旅行者の動向は物価高騰などの影響により依然として控えめとなっており、対前年比で3.8%減少と推移した。なお、青森県においては、日本人延べ宿泊者数についても対前年比で12.3%増加しており、47都道府県中最高の伸び率となっているほか、インバウンドについては対前年比で26.4%増加している。

【はっちについて】令和元年度の観光入込客数の水準には達していないものの、八戸ポータルミュージアム開館15周年事業の実施や、八戸市中心街で行われる各種イベントとの連携により、施設内外での催しを充実させたことで、前年度を上回った。

【観光案内所について】令和元年度の観光入込客数の水準に達していないが、その一方で、外国人の案内実績は令和元年度と比べて増加していることから、インバウンド対応への重要性がうかがえる。

○推移

主要地点 施設名	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計	
		客数	R1年度比	客数	R1年度比	客数	R1年度比
八食 センター	R1	1,376,986	-	1,058,611	-	2,435,597	-
	R5	1,299,858	94.4%	1,150,185	108.7%	2,450,043	100.6%
	R6	1,372,681	99.7%	1,198,770	113.2%	2,571,451	105.6%
	R7	1,484,428	107.8%	1,313,149	124.0%	2,797,577	114.9%
はっち	R1	436,537	-	379,017	-	815,554	-
	R5	315,685	72.3%	304,266	80.3%	619,951	76.0%
	R6	327,984	75.1%	309,014	81.5%	636,998	78.1%
	R7	332,480	76.2%	309,259	81.6%	641,739	78.7%
種差海岸イン フォメーション センター	R1	72,266	-	24,804	-	97,070	-
	R5	69,177	95.7%	25,310	102.0%	94,487	97.3%
	R6	71,776	99.3%	30,379	122.5%	102,155	105.2%
	R7	89,303	123.6%	40,577	163.6%	129,880	133.8%
マリエント	R1	42,967	-	21,708	-	64,675	-
	R5	37,331	86.9%	22,796	105.0%	60,127	93.0%
	R6	33,958	79.0%	20,635	95.1%	54,593	84.4%
	R7	28,511	66.4%	22,435	103.3%	50,946	78.8%
観光 案内所	R1	31,941	-	26,501	-	58,442	-
	R5	24,469	76.6%	19,851	74.9%	44,320	75.8%
	R6	23,817	74.6%	20,693	78.1%	44,510	76.2%
	R7	23,150	72.5%	20,301	76.6%	43,451	74.3%
5地点合計	R1	1,960,697	-	1,510,641	-	3,471,338	-
	R5	1,746,520	89.1%	1,522,408	100.8%	3,268,928	94.2%
	R6	1,830,216	93.3%	1,579,491	104.6%	3,409,707	98.2%
	R7	1,957,872	99.9%	1,705,721	112.9%	3,663,593	105.5%



2 主要観光イベント入込客数

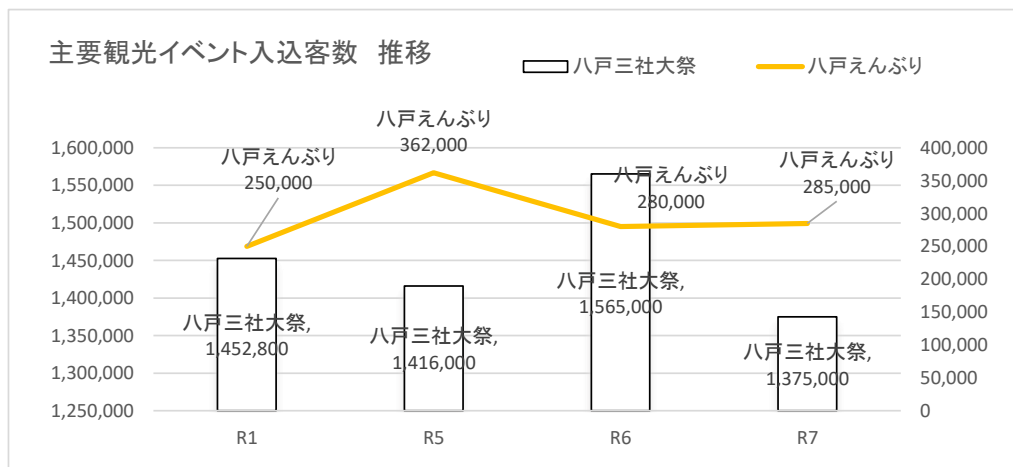
○傾向

八戸三社大祭は、令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島付近を震源とする地震に伴う津波の影響もあり、令和元年度及び前年度を下回る入込数となった。

一方、八戸えんぶりは昨年度と同様に平日開催となり、週末を含まなかったが、鑑賞しやすい天候であったことから、昨年度の入込数を若干上回った。

○推移

イベント名	年度	客数	R1年度比	開催日	備考
八戸三社大祭	R1	1,452,800	-	R1.7.31水-R1.8.4日	
	R5	1,416,000	97.5%	R5.7.31月-R5.8.4金	通常開催再開
	R6	1,565,000	107.7%	R6.7.31水-R6.8.4日	後夜祭1時間延長
	R7	1,375,000	94.6%	R7.7.31木-R7.8.4月	
八戸えんぶり	R1	250,000	-	R2.2.17月-R2.2.20木	
	R5	362,000	144.8%	R6.2.17土-R6.2.20火	通常開催再開
	R6	280,000	112.0%	R7.2.17月-R7.2.20木	
	R7	285,000	114.0%	R8.2.17火-R8.2.20金	



3 宿泊者数((一財)VISITはちのへによる調査)

○傾向

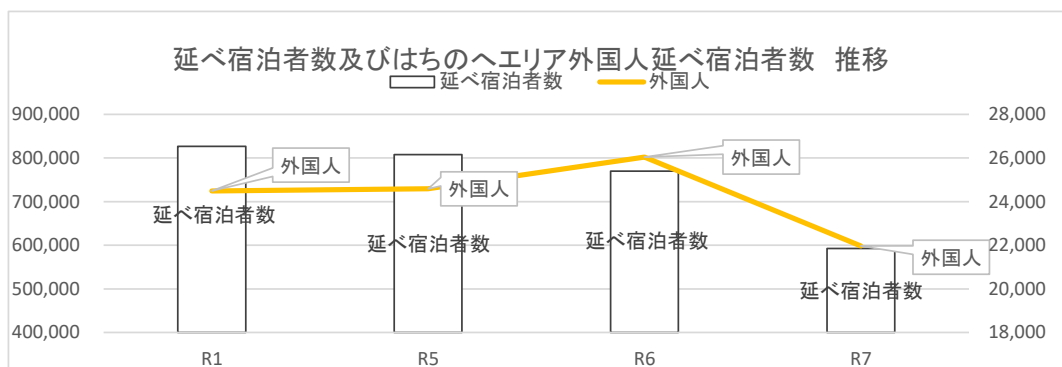
令和7年度の延べ宿泊者数は、令和元年度比71%、令和6年度比でも77%と大幅に減少した。減少した要因としては、これまで提供を受けていた、客室数の多い宿泊施設から、宿泊者数データの提供が受けられなくなったことが主なものと考えられる。(宿泊施設からのデータ提供が得られない傾向は全国的にも同様であり、観光庁が実施している宿泊旅行統計調査においても有効回収率は半分程度に留まっている。)

またインバウンドについては、全国的には中国・台湾等アジア地域からの入込数が多いが、八戸エリアにおいてはアメリカからの宿泊者が最も多く、また、増加率も高い傾向にある(令和元年度比2.4倍以上)。

○推移

(単位:人泊)

	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計		集計対象施設数
		客数	R1年度比	客数	R1年度比	客数	R1年度比	
八戸市 延べ 宿泊者数	R1	458,407	-	368,032	-	826,439	-	26施設
	R5	447,065	97.5%	360,655	98.0%	807,720	97.7%	22施設→23施設
	R6	438,328	95.6%	331,413	90.1%	769,741	93.1%	23施設→20施設
	R7	338,036	73.7%	254,474	69.1%	592,510	71.7%	21施設→19施設
はちのへ エリア 外国人延べ 宿泊者数	R1	14,652	-	9,839	-	24,491	-	
	R5	13,907	94.9%	10,679	108.5%	24,586	100.4%	
	R6	14,799	101.0%	11,243	114.3%	26,042	106.3%	
	R7	14,057	95.9%	7,910	80.4%	21,967	89.7%	



○参考:現在の集計対象施設に絞った場合の宿泊者数の推移

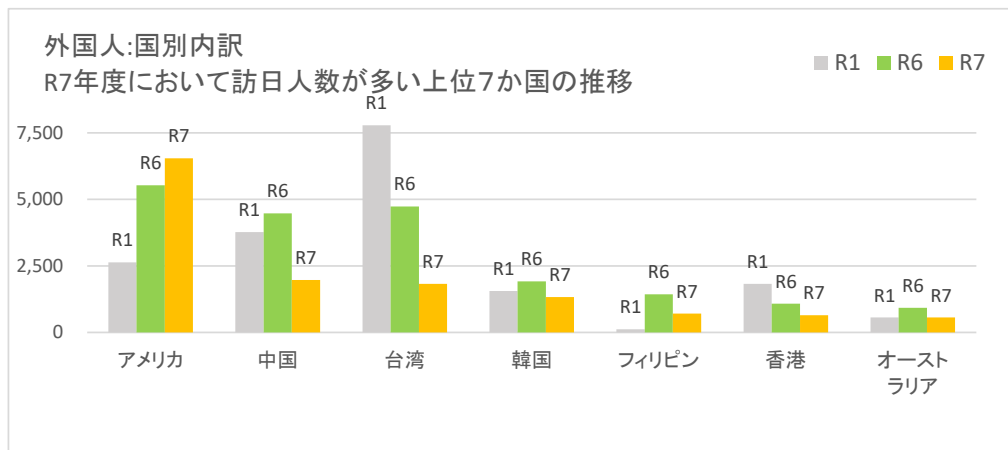
(単位:人泊)

	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計		集計対象施設数
		客数	前年度比	客数	前年度比	客数	前年度比	
八戸市 延べ 宿泊者数	R5	302,092	—	256,381	—	558,473	—	18施設
	R6	294,819	97.6%	255,438	99.6%	550,257	98.5%	18施設
	R7	297,945	101.1%	246,761	96.6%	544,706	99.0%	18施設

※19施設中1施設は令和7年度より対象であるため、上記からは除く。

○外国人国別内訳 ※令和7年度において訪日人数が多い上位7か国

年度	アメリカ	中国	台湾	韓国	フィリピン	香港	オーストラリア	その他	合計
R1	2,638	3,770	7,781	1,554	118	1,831	564	5,956	24,212
R5	4,389	3,083	3,983	1,525	657	1,454	811	9,026	24,928
R6	5,527	4,477	4,738	1,919	1,434	1,077	925	5,994	26,091
R7	6,543	1,967	1,825	1,329	706	651	561	8,385	21,967



4 観光関連イベントについて

(1) 頑張れ！福島選手 ハマる、ハチノへ。観光プロモーション in ES CON FIELD HOKKAIDOについて

【概要】八戸市出身で、北海道日本ハムファイターズに所属する福島蓮選手の活躍を応援するとともに、当市の魅力を広く発信するため、北海道北広島市の「エスコンフィールドHOKKAIDO」において、市長のトップセールスや、八戸の魅力を発信するイベントを開催することにより、地元特産品の認知度向上や八戸市への来訪意欲の向上を図る。

【日時】令和8年6月19日(金) 15時45分～19時

【場所】北海道北広島市（エスコンフィールドHOKKAIDO）

【内容】① 物産販売

南部せんべい、なかよし、チョコQ助など、八戸圏域の特産品を販売。

② 観光PRブース出展

・市長によるトップセールス

・八戸に関連するクイズ及びノベルティ・観光パンフレット配布を実施

(2) はちのへフェアin羽田空港について

【概要】世界有数の乗降客数を誇り、国内外の来場者であふれる羽田空港において、市長のトップセールスや、八戸の魅力（食のまち）を発信するイベントを開催することにより、地元特産品の認知度向上、販路拡大、さらには八戸市への来訪意欲の向上を図る。

【日時】令和8年11月予定

【場所】羽田空港第一ターミナル：東京都大田区

【内容】① 市長によるトップセールス

② 空港レストランでの八戸食フェア、物産販売

③ 郷土芸能披露、いかずきんズグリーティング

※画像は昨年度の様子



(3)みちのく潮風トレイルウォークin八戸について

- 【 日 程 】 令和8年7月5日(日)
- 【 場 所 】 青森県八戸市(蕪島～葦毛崎～種差天然芝生地)
- 【 主 催 】 環境省、みちのく潮風トレイルウォーク実行委員会
- 【 共 催 】 八戸市
- 【 後 援 】 復興庁、観光庁、青森県、ほか
- 【 内 容 】 トレイルウォーキング(約5km及び約8kmコース)
- 【 参加者 】 約600名(R7:594名、R6:404名)
※八戸市以外に、名取市(5/17)、相馬市(6/21)、宮古市(9/27)で開催
※写真は昨年度の様子



(4)海水浴場の開設について

- 【開設期間】 白浜海水浴場 令和8年7月10日(金)から令和8年8月30日(日)まで(52日間)
蕪島海水浴場 令和8年7月25日(土)から令和8年8月26日(水)まで(33日間)
- 【開設時間】 午前9時から午後5時まで ※シャワー利用時間は午後4時30分まで
- 【入込実績】 白浜海水浴場 R7:11,258人、R6:17,102人
蕪島海水浴場 R7:20,995人、R6:18,245人

(5) 令和8年度八戸三社大祭について

【主 催】八戸三社大祭運営委員会

【日 程】令和8年7月31日(金)～令和8年8月4日(火)

期日	内容	開催時間	開催場所
7月31日(金)	前夜祭・山車展示	18:00～21:00	市庁別館前市民広場及び中心街
8月1日(土)	出発式	13:30	おがみ神社
	神社・山車合同運行(お通り)	15:00～19:00頃	市庁前出発・中心街
8月2日(日)	長者山新羅神社例祭 献幣使参向	11:00～	長者山新羅神社
	おがみ神社中日例祭	13:00～14:00	おがみ神社
	加賀美流騎馬打毬、徒打毬	14:00～16:00	長者山新羅神社
	夜間山車運行	18:00～21:00頃	三日町(番町側)出発・中心街
8月3日(月)	おまつり広場 (八戸青年会議所)	11:00～21:00	市庁本館前市民広場
	神社・山車合同運行(お還り)	15:00～19:00頃	鍛冶町出発・中心街
8月4日(火)	おまつり広場 (八戸青年会議所)	11:00～21:00	市庁本館前市民広場
	後夜祭・山車展示	18:00～21:00	市庁別館前市民広場及び中心街

(6) 第46回八戸花火大会について

【名 称】大切な人と、特別な時間(とき)を・・・
第46回八戸花火大会

【主 催】八戸花火大会実行委員会

【日 時】令和8年8月22日(土)午後7時～ ※順延日 令和8年8月23日(日)

【場 所】館鼻漁港

食のまち・八戸の取組について

1 八戸食文化会議について

(1) 目的

当市の食資源及び食文化の価値を再認識し共有するとともに、「食のまち・八戸」の実現に向けた施策及び取組に関し意見交換を行い、その結果を市の施策の推進に活用することにより、食を核とした観光振興及び地域ブランドの確立を図ることを目的とする。

(2) 会議の体制（令和 8 年 4 月 28 日設置・第 1 回開催）※(7)委員名簿参照

① 委員構成

31 名（食・観光・商工・金融・文化・メディア関係者等）

② 組織体制

会長 1 名（八戸市長）

副会長 2 名（武輪 俊彦氏：八戸商工会議所会頭）

（佐々木 伸夫氏：（一財）VISIT はちのへ理事長）

委員 28 名

(3) ワーキンググループの体制（第 1 回令和 8 年 4 月 23 日・第 2 回 5 月 27 日開催）

本会議の下部組織として、具体的な事業の企画及び検討を行うため、ワーキンググループを設置する。

① 委員構成

10 名（食、観光関係者等）

② 組織体制

座長 1 名（大久保 圭一郎氏：商工会議所副会頭・観光委員会委員長）

副座長 1 名（荒瀬 潔氏：DT プロジェクト(株)代表取締役社長）

委員 8 名

アドバイザー 2 名（俵 慎一氏：（一社）愛 B リーグ本部専務理事）

（田中 操氏：（一社）日本食文化観光推進機構理事）

(4) 主な検討事項

- ①当市の食資源と観光の融合による新たな観光の創出に関する事
- ②食を通じた旅行者の満足度向上に関する事
- ③「食のまち・八戸」宣言の策定・発信に関する事
- ④「食のまち・八戸」ブランド化（ロゴ等の作成）に関する事
- ⑤はちのへ食文化博覧会の取組に関する事
- ⑥食文化の継承及び次世代育成に関する事
- ⑦食を目的に訪れる価値のあるまちづくりに関する事

(5) 第1回八戸食文化会議（4/28開催）の主な内容

「食のまち・八戸」の方向性及び令和8年度事業スケジュールについて共有するとともに、「(仮)食のまち・八戸宣言」及び中核事業案（はちのへ食文化博覧会等）について意見交換を行った。

また、八戸の食の魅力を市内外へ効果的に発信し、「食べるために訪れたいまち」の実現を目指していく方向性を確認した。



【第1回八戸食文化会議】令和8年4月28日（火）

(6) 令和8年度スケジュール（予定）

時期	内容
令和8年4月	八戸食文化会議 WG 設置、第1回開催（4/23） 八戸食文化会議設置、第1回会議開催（4/28）
令和8年5月・6月	八戸食文化会議 WG 第2回開催（5/27） 八戸食文化会議第2回予定（6/15）
令和8年7月	八戸食文化会議 WG 第3回予定（7/15） 八戸食文化会議第3回予定（7/23）
令和8年8月8日	「食のまち・八戸宣言」（八食センター）
令和8年秋	はちのへ食文化博覧会等の展開

(7) 委員名簿 (6/12 現在)

① 八戸食文化会議委員 31名

役職	氏名	所属
会長	熊谷 雄一	八戸市長
副会長	武輪 俊彦	八戸商工会議所会頭
副会長	佐々木 伸夫	一般財団法人 VISIT はちのへ理事長
委員	中居 規文	青森県菓子工業組合八戸支部 支部長
委員	小橋 弘子	青森県観光交流推進部観光政策課 課長
委員	佐藤 大輔	青森県中小企業団体中央会八戸支所 所長
委員	駒井 庄三郎	青森県物産振興協会 副会長
委員	杉本 健一	鮫観光協会 会長
委員	柳沢 卓美	種差観光協会 会長
委員	広瀬 知明	株式会社デーリー東北新聞社 代表取締役社長
委員	近藤 弘樹	株式会社東奥日報社八戸支社長
委員	松倉 政勝	南郷観光協会 会長
委員	壬生 八十博	南郷商工会 会長
委員	松橋 義昭	八戸金融団 会長
委員	岡本 信也	八戸商工会議所青年部 会長
委員	大久保 圭一郎	八戸商工会議所副会頭・観光委員会委員長
委員	松井 正文	八戸商店街連絡協議会 会長
委員	附田 眞輔	八戸市旅館ホテル協同組合 理事長
委員	野田 一夫	八戸水産アカデミー実行委員長
委員	下村 正男	八戸農業アカデミー
委員	工藤 大地	八戸ワイン振興会事務局長
委員	田中 貴大	一般社団法人八戸青年会議所 理事長
委員	高橋 俊行	八戸地域社会研究会 会長
委員	竹中 亨考	八戸日本料理業 芽生会 会長
委員	松橋 満幸	八戸ホテル協議会 会長
委員	月舘 裕二	八戸横丁連合協議会 事務局
委員	上平 靖文	協同組合八食センター 理事長
委員	吉田 正樹	東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社 八戸駅駅長
委員	安原 清友	八戸市商工労働まちづくり部長
委員	石丸 隆典	八戸市農林水産部長
委員	工藤 俊憲	八戸市観光文化スポーツ部長

② 八戸食文化会議ワーキンググループ委員 10名

役職	氏名	所属
座長	大久保 圭一郎	八戸商工会議所副会頭・観光委員会委員長
副座長	荒瀬 潔	DT プロジェクト株式会社代表取締役社長
委員	地主 裕太	株式会社マルヌシ 代表取締役社長
委員	金入 健雄	株式会社金入 代表取締役社長
委員	高田 浩平	協同組合八食センター販売促進課 課長
委員	駒井 秀介	八戸酒造株式会社 専務
委員	秋元 光浩	なんごうプラザ株式会社 開発部長
委員	佐藤 容紹	八戸水産価値向上実行委員会 理事
委員	大澤 清隆	八戸缶詰株式会社 相談役
委員	山田 朋子	三友建設工業株式会社 代表取締役社長

③ 食のまち・八戸アドバイザー

氏名	所属
俵 慎一	一般社団法人愛 Bリーグ本部 専務理事
田中 操	一般社団法人日本食文化観光推進機構 理事

2 「美食都市アワード2026」の受賞について

(1) 美食都市アワードについて

- ①一般社団法人美食都市研究会が主催する、日本初の「食」を軸としたまちづくりを評価・表彰するアワードとして、2024年に創設。
- ②人口50万人以下の自治体を対象に、先進的な取組を行い、今後の美食都市づくりのモデルとなる都市を表彰するもの。
- ③単に優れた食材や郷土料理があるだけでなく、地域資源を活かした新たな名物の創出、魅力的なレストラン、美食イベント、行政による継続的な産業振興など、10項目の基準により総合的に審査。



(2) 2026 受賞都市について

- ・ 審査員7名（会長：橋爪紳也（大阪公立大学名誉教授））及び一般公募による自薦により、全国54都市・エリアが候補として推薦された。
- ・ その中から、地域食材の独自性、シェフやレストランの取組、生産者や特産品、フードフェスティバル、DMOや自治体による食文化振興施策など、10項目の評価基準に基づき審査が行われ、4都市が受賞都市として認定された。

①北海道余市町 ②青森県八戸市 ③岐阜県飛騨市 ④大分県日田市

【参考】過去の受賞都市

・2025 受賞都市

- ①北海道函館市 ②福井県坂井市
- ③三重県多気町 ④兵庫県淡路島
- ⑤広島県廿日市市

・2024 受賞都市

- ①北海道帯広市 ②山形県鶴岡市
- ③石川県金沢市 ④京都府京丹後市
- ⑤長崎県雲仙市



【「美食都市アワード2026」贈賞式】
令和8年5月8日（金）

(3) 八戸市の受賞理由

① 地元食材を活かした食文化の発信

② 官民連携による取組の推進

- ・ 水産業者、飲食店、観光事業者が連携し、「八戸ブイヤベースフェスタ」を開催するなど、八戸産魚介の魅力発信と新たな地域ブランド形成に取り組んでいる。

③ 食体験型観光の充実

- ・ 朝市や横丁文化など八戸ならではの食体験を観光資源として活用するとともに、地元食材を活かした体験型ツアー等を通じて交流人口の拡大を推進している。

④ 地域経済への波及効果

(4) 今後の予定

① 7月15日（水）美食都市アワード受賞都市オンライン勉強会・情報交換会

【主な内容】

- ・ 講演
- ・ 他都市取組紹介
- ・ 今後の連携に向けた意見交換会

② 10月27日（火）東京都内において美食都市フォーラム開催予定

【主な内容】

- ・ 基調講演、ゲスト講演
- ・ 受賞自治体首長による各都市プレゼンテーション・パネルディスカッション
- ・ 参加各都市による試食の提供

3 食のまち・八戸宣言（仮称）について

(1) 目的

八戸市の宣言は、観光振興の観点から、市民及び市外からの来訪者に向け、当市の食に関する価値について、五感全てで味わう八戸ならではの食体験を提供するまちであることを意思表示するもの。

これにより、食べることを楽しむために、訪れたいまちを目指す。

(2) 検討状況

八戸食文化会議及びワーキンググループにおいて、当市の食文化の特徴や強み、今後の食を活用したまちづくりの方向性について意見交換を行っている。

（宣言の内容）

宣言文	① 八戸の食文化・地域特性
	② 食の価値・魅力の整理
	③ 目指す将来像
	④ 市民・事業者・行政の連携
	⑤ 行動指針

どんな食のまちにしたいのか。

-
- ①食を学ぶ街
 - ②食をエンジンに観光人材づくり（料理人の育成等）
 - ③食のチャレンジシティ（店を出してみたい街）
 - ④街全体が食のアミューズメントになっている。

(3) 宣言イベントの概要

① 日時

令和8年8月8日（土曜日）

② 場所

八食センター

③ 主な内容

- ・ 市長による「食のまち・八戸宣言（仮称）」
- ・ 「食のまち・八戸」ブランドロゴマーク発表
- ・ ゲストによるトークイベント
- ・ 食文化体験企画（飲食提供）
- ・ 飲食ブースの展開

令和7年度インバウンドに関する事業実績について

1. 事業の目的

外国人観光客の受入れを通じた地域経済の活性化に向け、重点市場への戦略的プロモーションと受入体制の整備を一体的に推進し、持続可能な観光地域づくりの基盤を構築するもの。

2. 重点市場

① 東アジア

青森空港を含む東北地方の航空ネットワーク（直行便）の優位性を活かし、再訪意向が高いリピーター層の獲得を図る。

② 欧米豪

みちのく潮風トレイルをはじめとする豊かな自然資源や、ロングトレイル文化に関心を持つ旅行者層へ訴求する。

3. 八戸圏域のインバウンドの状況

※令和7年度はちのへエリア宿泊実績調査（実施主体：VISIT はちのへ）より

外国人延べ宿泊者数：21,967 人泊（前年度比 102.3% / 全体に占める割合：3.6%）

※上位3カ国：①アメリカ（6,543 人泊 / 前年度比 188.7%）

②中国（1,967 人泊 / 48.6%）

③台湾（1,825 人泊 / 42.2%）

4. 事業内容

(1) 重点市場への訴求

取組内容	主な実績
① SNS 広告の配信 配信エリア： 欧米豪、東アジア、東南アジア、	・ 配信内容：みちのく潮風トレイル、館鼻岸壁朝市、横丁等 ・ 配信期間：34 日間 ・ リーチ数：約 20 万件
② 台湾での旅行博「日本東北遊楽日」への PR ブースの出展 (12 月 6 日～7 日 / 主催：東北観光推進機構)	・ 期間中の来場者数：101,616 人 ・ ブース内での観光動画の放映、観光パンフレットの配布 ・ 来場者アンケート実施：回答件数 537 件
③ 三沢米軍基地内施設（福利厚生施設 20 カ所）でのデジタルサイネージ広告の配信	・ 配信期間：約 60 日間 ・ 配信内容：八戸三社大祭、八戸えんぶり（各 30 日間） ・ 表示回数合計：9,000～10,000 回/月

(2) 他団体と連携したメディア・インフルエンサーによる情報発信

取組内容	主な実績
① 欧米インフルエンサー招請 (6月8日) 【連携先：東北観光推進機構】	<ul style="list-style-type: none"> ・招請者：アメリカ、フランス出身のインフルエンサー 2名 ・訪問先：ミチル種差、種差海岸、蕪嶋神社、横丁 等 ・リーチ数：147,540 件
② Web メディア「コロカル」インフルエンサー招請 (7月24日～25日) 【連携先：十和田奥入瀬観光機構】	<ul style="list-style-type: none"> ・招請者：多言語発信が可能なインフルエンサー・モデル 2名 ・訪問先：八食センター、八戸酒造、HAPPOYA、十和田神社 等 ・リーチ数：377,418 件
③ 台湾インフルエンサー招請 (9月12日～14日) 【VISIT はちのへ単独実施】	<ul style="list-style-type: none"> ・招請者：台湾在住のインフルエンサー 2名 ・訪問先：ミチル種差、蕪嶋神社、八食センター、朝市 等 ・リーチ数：1,052,453 件
④ 台湾インフルエンサー招請 (10月22日～24日) 【VISIT はちのへ単独実施】	<ul style="list-style-type: none"> ・招請者：台湾在住のインフルエンサー 2名 ・訪問先：種差海岸、横丁、三戸町りんご園、六戸町牧場 等 ・リーチ数：247,991 件
⑤ ドイツメディア招請 (11月9日) 【連携先：日本航空】	<ul style="list-style-type: none"> ・招請者：ドイツメディア「outdoor」 2名 ・訪問先：みちのく潮風トレイル（蕪島、小舟渡 等） ・デジタル読者数：約 23 万人



6月 欧米インフルエンサー招請の様子



7月 WEBメディアインフルエンサー招請の様子



10月 台湾インフルエンサー招請の様子

令和7年度広報プロモーションに関する事業実績について

1. 事業目的

SNS やメディアを活用した戦略的な広報プロモーションを展開し、はちのへエリアの継続的な露出を図る。これにより、エリアの認知度向上と来訪意欲の喚起、さらには観光誘客の促進と地域ブランドの向上へとつなげる。

2. 令和7年度の実績報告

①各種 SNS による情報発信

VISIT はちのへの公式 SNS にて、はちのへエリアの魅力を発信するため、Instagram では視覚的感度の高いユーザーをターゲットに訴求し、X・Facebook ではイベント情報等を中心に発信した。

令和7年度の途中からは動画主体の配信へシフトし、滞在時間の延長を目的に各市町村のスポットを深掘りする単独の特集などを実施している。

【市町村別発信回数実績（令和7年4月～令和8年3月）】

SNS の種類	市町村別 発信回数	フォロワー数(3/31 時点)
X	八戸市 427 回、三戸町 18 回、五戸町 12 回、田子町 19 回、南部町 22 回、階上町 9 回、新郷村 8 回、おいらせ町 18 回	R7:18,504 人 ※103%増 R6:18,061 人
Instagram ※ストーリー除く	八戸市 114 回、三戸町 5 回、五戸町 5 回、田子町 9 回、南部町 6 回、階上町 10 回、新郷村 3 回、おいらせ町 15 回	R7:9,424 人 ※207%増 R6:4,563 人
Facebook ※ストーリー除く	八戸市 143 回、三戸町 6 回、五戸町 6 回、田子町 9 回、南部町 7 回、階上町 10 回、新郷村 3 回、おいらせ町 14 回	R7:9,881 人 ※116%増 R6:8,485 人

【Instagram での投稿実績】

八戸市



三戸町



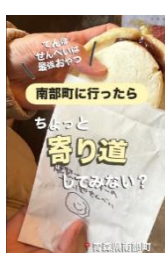
五戸町



田子町



南部町



階上町





②ラジオ番組「BeFM 県南とれたて情報」での発信

毎週月曜日の午前 11 時 30 分から 10 分程度放送しているコミュニティ放送を活用し、八戸圏域 8 市町村のイベントや観光情報等を発信した。同コーナーは、圏域 7 町村と VISIT はちのへが持ち回りで担当している。

【出演実績（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）】 参考：VISIT はちのへ出演回数は月 1 回

八戸市	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村	おいらせ町
12 回	6 回	6 回	5 回	6 回	5 回	6 回	5 回

③「河北ウィークリーせんだい」を活用した八戸圏域の PR

(1)実施概要

（株）河北新報社（仙台市）が毎週木曜日に発行する「河北ウィークリーせんだい」の読者プレゼントコーナーを活用し、当圏域の認知度向上を図る。

(2)「河北ウィークリーせんだい」媒体概要

- ・河北新報社発行するフリーペーパーで、毎週木曜日発行
- ・タブロイド判 12～20 ページ・オールカラー、仙台圏 403,700 部
（内訳：河北新報折込 212,000 部、ポスティング 171,600 部、スタンド配置 20,100 部）
- ・その他、河北新報アプリでも閲覧可能

(3)プレゼント提供内容及び応募状況

- ① 9 月：三戸町 丸末果樹農園株式会社
SANNOHE PEAK 「はるか」と「紅の夢」100%ストレートりんごジュース
- ② 12 月：八戸市 株式会社味の加久の屋 八戸祭り物語「いちご煮」3 缶
- ③ 2 月：五戸町 有限会社尾形精肉店 「上さくら鍋セット 2 人前」

① 9 月 25 日号 「100%りんごジュース」	② 12 月 11 日号 「いちご煮缶」	③ 2 月 12 日号 「上さくら鍋セット 2 人前」
応募総数： 1,195 件(内ハガキ 88 件)	応募総数： 1401 件(内ハガキ 151 件)	応募総数： 1,308 件(内ハガキ 86 件)
<p>定応募め切り 10月1日※必着</p> <p>A SANNOHE PEAK 「はるか」と「紅の夢」100%ストレートりんごジュース 5名 (720ml×2本セット、5,600円相当) <産後、一般財団法人 VISIT はちのへ></p> <p>完熟りんごの濃厚な味わいを飲み比べ</p> <p>青森県三戸町の丸末果樹農園で製造する「SANNOHE PEAK」は、一番甘いタイミングで熟成りんごをじっくりと使用したストレートジュース。「はるか」は甘みがあり酸味がマイルドな味わい。爽やかな酸味が口当たりよく、さらさらとした喉越しが広がる。「紅の夢」は果肉までよく、淡いピンク色のジュースが特徴。きりっとした酸味が大人の味わいを演出する。飲み比べを楽しんで。</p> <p>商品に関するお問い合わせ 0178-76-1110</p>	<p>定応募め切り 12月17日※必着</p> <p>A 青森県八戸市 「いちご煮」3缶(化粧箱) 5名 (415g×3缶、4,900円相当) <産後、一般財団法人 VISIT はちのへ></p> <p>ウニとアワビ香るいちご煮缶</p> <p>いちご煮はウニとアワビで仕立てたお汁で、青森県八戸地方を代表する郷土料理。この味わいを伝統にしたのが、味の加久の屋の「いちご煮」缶。温めてその香まを堪能。炊き込みご飯やリスタなどに合わせれば、お粥の香りが広がる。八戸を代表する祭り「三社大祭」「丸の内祭り」、人気スポット「東島」をデザインした特別パッケージ。</p> <p>商品に関するお問い合わせ 0120-34-2444</p>	<p>定応募め切り 2月18日※必着</p> <p>A 青森県五戸町 尾形精肉店 「上さくら鍋セット 2 人前」 5名 (馬肉、カット野菜、鍋用せんべい付) <産後、一般財団法人 VISIT はちのへ></p> <p>特製たれで味わう馬肉鍋</p> <p>青森県五戸町の馬肉料理「尾形」で提供する馬肉料理。堪能できる贅沢な鍋セット。「さくら鍋」は地元の生産でつくる味を堪能。特製たれで、薄切した馬肉を煮込む五戸町の郷土料理だ。カット野菜と特製専用たれも付いているので、簡単に楽しむことができる。鍋用用のせんべいも付くので、締めはせんべい汁として味わおう。</p> <p>商品に関するお問い合わせ 青森県尾形店 五戸本店 0178-62-3016</p>

④メディアとの連携による記事掲載

首都圏のWEBメディア編集長を招聘し、はちのへエリア内の視察を実施した。当エリアの特徴的な観光資源を実際に体験・取材いただいた結果、WEBメディアでの記事掲載につながった。

従来の観光情報発信とは異なる切り口で、当エリアのユニークな地域資源を全国の読者に発信する機会を創出した。

(1)メディア名称：デイリーポータルZ

(2)メディア情報：全国向けのインターネット記事メディア

一般的な観光情報の紹介とは異なり、「ちょっと変わった場所」や「思わず気になるテーマ」を、ユーモアを交えて紹介するスタイルが特徴。熱心な固定読者が多く、ニッチながら影響力のある媒体。

(3)掲載日：令和8年2月16日（月） ※取材日10月7日～9日

(4)掲載内容：記事URL (<https://dailyportalz.jp/kiji/the-World-around-Hachinohe>)

- ・八戸市（八戸キャニオン） ・三戸町（11ぴきのねこ） ・田子町（タッココーラ）
- ・新郷村（キリストラーメン、キリストっぶ、キリストの墓、道の駅しんごう）
- ・おいらせ町（日本一の自由の女神像、ガンダム）



にんにくの町、田子のコーラ。ちょっとにんにくの風味があるくらいだと思ったらすごいにんにく味だった



八戸のとなりの三戸町は馬場のぼる先生の出身地。道の駅で11ぴきのねこのピンバッジが買えた



あとで録音を聞いたら「そりゃ奇跡ですね!!」と囁し立っているのは主に私だったが